

2022 年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
01010101

1.計画名称

茅野市地域福祉計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R4評価)「お互いに支え合いその人らしく暮らせるまちづくり」という理念の基、保健・医療・福祉の連携、相談支援のネットワークの構築、地域での支え合いの仕組みづくり等を、各種の業務において実践し継続している。 (総括評価)新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、訪問活動、福祉21茅野との協働などが継続され、また、新たな取組も始まったことは評価できる。
今後の重点化施策番号	2	説明	保健福祉SCは市民が安心して暮らせるための拠点として、個々の生活に関わる相談や地域課題への対応を実施しているが、今後ますます多様化する課題に対応していくためには、保健福祉SCの活動充実に向けた体制強化を図る必要がある。また、福祉21茅野との協働により課題解決に向けた議論を重ねながら、様々な分野におけるワーキングの活動を進める。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	一人ひとりが主役となり、「共に生きる」ことができるまち(3)	おおむね順調	(R4評価)福祉21茅野のフレイル認知症予防ワーキングでは、市民一人ひとりの健康寿命の延伸と生きがいある人生を実現するために、フレイル認知症予防プログラムの開発の検討に着手した。 (総括評価)福祉21茅野のワーキンググループが立ち上がったことにより具体的な課題が明確になった。	(R4・総括評価共通)フレイル認知症予防プログラムの実施にあたり、モデル地区を定めて開催を進める予定であるが、具体的な進め方や人手の確保、開催時期などの多くの課題がある。	フレイル認知症予防プログラムの実施については、諏訪中央病院がワーキングの中心となって、具体的な活動内容や課題の洗い出しを行い、実現に向けた検討を継続する。
2	生涯にわたって健やかに、安心して暮らせるまち(1)	おおむね順調	(R4評価)保健福祉SCでは、社協のCSWを中心に、保健師やケースワーカーが協力しながら訪問活動を実施した。 (総括評価)保健福祉SCは市民が安心して暮らせるための拠点として機能できているが、相談業務や訪問活動の更なる充実のために体制の強化の必要性を認識できた。	(R4・総括評価共通)地域課題として、個別支援を通じて見えてくる課題の他、地区の様々な会議や活動に参加することで得られる情報の中から見えてくる課題があるが、保健福祉SCで対応できる範囲を超えている内容も多く、十分に対応しきれっていない。	個々の生活に関わる相談や地域課題と思われる内容について、社協のCSW、保健師、ケースワーカーが協力しながら、相談内容に応じて庁内とも連携を図り、適切な窓口へつなぐ。
3	ふれあい、学びあい、支えあいのあふれるまち(4)	おおむね順調	(R4評価)茅野市社協ボランティア・まちづくりセンターを中心に、「地域を育む」という意識を持って、誰もがお互いに支え合える地域づくりを推進した。 (総括評価)社協への補助金支出によりコロナ禍においても継続的な福祉教育活動を実施することができた。	(R4・総括評価共通)地域におけるボランティアの推進、福祉教育の推進に向けた取組の活性化を図るため、茅野市社協ボランティア・まちづくりセンターと地区コミュニティセンターとの連携をうまく機能させる必要がある。	令和5年度中に茅野市社協ボランティア・まちづくりセンターをゆいパーク茅野の1階へ移転し、地区コミュニティセンター等との連携を強化する。
4	すべての人にとって豊かで快適に生活することができるまち(2)	おおむね順調	(R4評価)福祉21茅野の外出支援ワーキングでは、新しい公共交通(のらぎあ)が誰でも使いやすい仕組みになるよう、ワーキングの意見を新公共交通検討会に届ける等の取り組みを進めた。 (総括評価)コロナ禍においても快適な生活を営むための様々な課題への取組を継続的に実施することができた。	(R4・総括評価共通)のらぎあの利用について、高齢者の外出支援としての有効性だけでなく、今後は障害者の外出支援という視点も含めて検討する必要がある。	障害者がのらぎあを利用するためにはどういった配慮が必要となるかを検討し、外出支援ワーキングとしての意見を新公共交通検討会へと提言できるよう活動を進める。
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称 福祉21茅野	3月28日の福祉21茅野幹事会において、コロナ禍でも活動を継続した3つのワーキング(外出支援、福祉避難所、フレイル認知症予防)の活動を活発化させるため、活動が停滞している部会の会員を集めた全体集会を令和5年度早々に開催したい。	福祉21ピーナズプランの中間見直しの時期(令和5年)に合わせて、施策の実績報告や、評価及び今後の方向性の確認を行う予定。
開催回数 2		
参加延べ人数 60		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		